

四之宮4月号 公民館だより

平塚市東真土2-1-48

電話 55-0655

FAX 54-8255

ホームページは

平塚市立四之宮公民館 と検索

地域の情報は **四之宮ふれあい便り** と検索

博物館春期特別展で四之宮の女医
故「沖津くら」さんが登場

平塚市博物館で、三月二十二日（土）から開催されております春期特別展で「近代ひらつかの女性たち」十人が五月十八日（日）まで紹介されております。

そのなかに四之宮で多くの方がお世話になった沖津くらさんが選ばれました。

沖津くらさんは、本紙でも平成三十年一月に養父沖津直さんと共に紹介しましたが、今回も養父直さんと共により詳しく紹介されております。

例えば、細菌学の論文を京都大学に提出して医学博士号を取得されたとか、往診時のエピソードなど。

また神奈川県で女性初の県会議員になり、田村の神川橋を木造橋から鉄筋コンクリート造りにした際の助力等もあります。

沖津直さんも、医師のかたわら大野村の村会議員や村長さん、大野町の初代町長や県会議員、大野町が平塚市と合併した直後の市会議員。その間には、今も高林寺前などに残るバス道路の待避所設置をされたなどの記録もありました。



沖津くらさんの他に

上原とめさん 平塚初の私立高等女学校創設

清田 華さん 平塚、中郡で最初の女性医師、

戸倉ヤマさん 日本人によるオペラ

富田レイさん 平塚初の保育園から

社会福祉センターへ

浜田イシさん 梅屋百貨店初代社長

比企キヨさん 平塚初の幼稚園の開園に尽力

村井多喜子さん 料理研究家村井弦斎

の妻

村井米子さん 登山家、文筆家

村井弦斎の娘

盛キヨ子さん 平塚初の女性公民館長

博物館春期特別展にどうぞお出かけください。

四之宮まめ知識 番外編



子育てるんるん

日時：4月21日（月）
10：00～11：30

内容：こいのぼりを作ろう

場所：四之宮公民館

新年度の始まりです！

楽しいるんるんにしていきますので、お友達を誘って遊びに

来て下さいね♪

※5月は、5/19（月）10:00～11:30
「ミニミニ遠足」です

四之宮地区社会福祉協議会

ふれあいサロン

日時：4月21日（月）13：00～

場所：四之宮公民館

内容：わくわくアート（美術教室）

※5月は、5/19（月）13:00～

「折り紙教室」です



四之宮福祉村サロンのご案内 4月・5月

福祉村サロンの予定表です。楽しく和やかに過ごしませんか。お待ちしております。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日(祝日は休村) 時間：10～12時、13～15時

場所：四之宮公民館 いこい室または集会室、茶室 TEL：55-0750



サロン名	4月	5月	曜日・時間
手芸	7・14・21・28	12・19・26	(月) AM
吹矢	7・14・28	12・26	(月) AM 9:30～
お茶席をたしなむ会	14	12	(月) PM
園芸クラブ(真土小裏)	8・22	13・27	(火) AM
スカットボール	15	20	(火) AM
歌声サロン(三味線)	15	20	(火) PM
臨床美術	2・23	7・28	(水) AM
囲碁ボール	9・16・30	14・21	(水) AM 9:30～
ゴム体操・コグニサイズ	16・23・30	7・14・21・28	(水) PM
小中学生への学習支援	5・12・19・26	10・17・24・31	(土) AM

四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その29」 記事提供：四之宮郷土史同好会

相模国府祭 四之宮前鳥神社 氏子役員 事前準備作業

相模国府祭(さがみのくにこうのまち)は私達、四之宮の氏神様(うじがみさま) 菟道稚郎子命(うじのわきいらつこのみこと)が大磯神揃山(かみそろいやま)に赴(おもむ)き相模の各神社と共に行なわれる神事です。

国府祭は大化の改新の後くらいより行われたとの記述があり1200年以上の歴史があります。

国府祭は寒川神社(一之宮)川勾(かわわ)神社(二之宮)比々多(ひびた)神社(三之宮)前鳥(さきどり)神社(四之宮)平塚八幡宮(一之社八幡宮)の五社が神揃山に勢ぞろいします。この神事は養老年間(719年〜724年)頃より始まったとされており、私達の前鳥神社は相模国、第四の神社として参加しております。

私は2度ほど白丁(はくぢょう)として奉仕しましたが、その頃は6月21日に行われていました。近年は5月5日の子供の日に行われる様になりました。国府祭に際しては神社の役員の方々が事前の準備に働かれています。

まず、青年会長とその三役の方たちが三月頃よりお御霊(みたま)さま様を担ぐ白丁と呼ばれる若者(20歳前後)30名近くを各町内よりお願いに回ります。



境内での粽づくり風景 お賽銭と共にお渡しする粽

4月末に表振る舞い(むぎふるまい)神事に使用する竹箆(たけはし)を青年会の方たちが30膳用意します。宮総代は警察に行き、道路使用許可の申請を提出し取得してきます。5月3日になりますと、役員の方々が粽(ちまき)用の餅つき作業を始め、宮総代の方々と世話人三役、青年会三役、そのほか役員の方々が粽用の茅(かや)を取りに前鳥神社宮下の相模川河川敷に赴き、奔走(ほんそう)されます。5月4日になりますと神社役員の方々が総出にて粽(ちまき)をつくりをいたします。これには神社退任役員の方々の左喜登利会(さきだてりかい)の皆様も応援に駆け付けます。

3,000本作るのに午後3時頃まで皆さんで頑張ります。青年会の皆さんはお迎え(むかひ)神輿(かみこし)の準備をします。また、前日から宮総代、宮世話人、青年会の方が大磯の神揃山、畑中(まげ)表振る舞い(むぎふるまい)神事、王家場(おあやば)に赴き準備をします。王家場には白丁の休憩場所等の準備をされます。当日は午前6時頃から準備がされ、7時からお立ちの神事が行われます。白丁と呼ばれる若者はお御霊(みたま)の前に整列します。白丁は以前20歳前後の若者とされていましたが、現在では若者であれば良いとされている様です。お立ち式典が終わわり、白丁に担がれたお御霊(みたま)が神社を出発されます。神職、神社役員、雅楽、太鼓保存会、左喜登利会の皆さんでこの神事が無事に執行できるように頑張っています。

協力 前鳥神社

宮司 神代 春彦氏

氏子総代 岩崎 邦彦氏、

宮総代 鈴木 雅晴氏

左喜登利会 小島 征男氏

四之宮郷土史同好会

ホムペーシで
一返元(かえり)コード
です。